

FO(U)R

板橋区立志村第六小学校
校長 渡邊 民雄
第4学年 学年だより
5月号
令和8年4月30日発行

進級して一か月が経ちました

若葉の緑が目には鮮やかな、清々しい季節となりました。4月の始業式から3週間が経ちました。最初は新しい教室や環境に少し緊張気味だった子どもたちも、今ではすっかりクラスに馴染み、休み時間には賑やかな声が響いています。最近では、係活動や学習中の発言から、「自分からやってみよう！」という前向きな姿が至る所で見られるようになり、高学年へのステップを力強く踏み出しているのを感じます。一方で、この時期は一日の寒暖差が大きく、疲れも出やすい頃です。子どもたちが体調を崩すことなく、毎日元気に登校できるよう、学校でもこまめな水分補給や衣服の調節などを声掛けていきます。ご家庭でも、十分な睡眠と休養を心がけていただければ幸いです。

また、先日はご多用の中、保護者会にご出席いただきありがとうございました。お子様がよりよい学校生活を送ることができるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

《5月の学習予定》

国語	文章の組み立てをとらえよう じょうほうのとびら：引用する わたしのクラスの「生き物図かん」	道徳	生命の尊さ 善悪の判断 国際理解
		音楽	歌声をひびかせて心をつなげよう 音の重なりを感じ取ろう
		図画 工作	木工伝言板
算数	わり算の筆算 角度 1億より大きい数	体育	鉄棒 マット運動
社会	住みよいくらし	総合	みんなにとってよいくらし
理科	動物のからだのつくりと運動 天気と気温 電流のはたらき	外国語 活動	Let's play cards.

《お知らせ・お願い》

☆土曜授業プランについて

5月16日（土）は今年度1回目の土曜授業プランとなります。給食なしの4時間授業です。この日は、ひまわり交流会を実施します。昨年度までは上級生に遊びを考えてもらっていましたが、4年生は2年生とペアになり、2年生が楽しめるような遊びを考えて実施する側となります。ぜひご来校いただき、下級生のために頑張る子どもたちの姿をご覧ください。なお、5月18日（月）は振替休業日となります。

☆教材費に関しては、5月15日（金）の引き落としとなります。

教材費（4,359円）・PTA会費（800円）・手数料（10円）となり、総合計は、5,169円です。教材費の内訳については、以下をご確認ください。期日までの入金をお願いいたします。

★教材費の内訳について

No	品名	金額	No	品名	金額
1	国語テスト（1学期）	320円	9	算数ノート	190円
2	くりかえし漢字ドリル（1学期）	370円	10	分度器	69円
3	漢字のたしかめ（上）	70円	11	理科テスト（1学期）	320円
4	国語ノート	190円	12	理科ノート	190円
5	漢字ノート	190円	13	電気のはたらきXV（電池付き）	620円
6	算数テスト（1学期）	320円	14	社会テスト（上）	330円
7	くりかえし計算ドリル（1学期分）	370円	15	社会ノート	190円
8	計算ドリルノート（1学期分）	200円	16	白板づくり8切 マグネットホワイトシート	420円
合計					4,359円

※年間教材費については、後日お知らせします。

★安全で楽しい「放課後の時間」を過ごせるように、4月に学年で指導しました

ランドセルをお家に置いた後の「放課後の時間」は、お子さま一人ひとりの大切な時間です。習い事で鍛錬することや友達と約束をして遊ぶなどの「それぞれの時間」があります。安全で楽しい時間を過ごせるよう、新学期が始まった4月は以下の内容を指導しました。お時間があるときで構いませんので、お子さまと「放課後の時間」について気を付けることを今一度、話していただくと幸いです。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

① 遊ぶときは、お家の人に遊ぶ場所や帰宅時間を伝えましょう。

「いつ」「だれと」「どこへ行き」「何をして」「何時に家に帰る」ことをお家の人に伝えてからと話しました。

② 子どもだけで遊ぶときは、お金等を持ち歩かないようにしましょう。

お金を持ったり、お金に変わる物（ゲーム機等）を持ち歩いたりすることは、相手との思わぬトラブルや気持ちのすれ違いをつくりかねません。反対に、暑い日は水筒を持ち、帽子を被って遊ぶことが望ましいです。

※どうしても貴重品を持って行く時は、ポシェット等で持ち歩き肌身離さずに行動することを話しました。

③ 友だち同士でのやりとりで、じっくり考えることが必要です。

これは、放課後遊びだけでなく、学校生活等の普段の生活に関わることです。相手とのやりとりですぐに返答しなければならないことはありません。じっくり考え、返答をすることも必要になります。友だちの返事を待つ側は「待つ」ことも大切だと指導しました。また、携帯電話やスマートフォンなどによった友達同士でのSNSのやりとりでは、保護者の方々と十分に相談をした上で言葉を交わすようにと話しております。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。